Call 公募	HORIZON-CL3-2026-01-FCT-05
Project	**Enhancing the security of citizens against terrorism and lone-actor violence in confined spaces such as schools** HORIZON-CL3-2026-01-FCT-05
Topic description トピックの説明	期待される成果： 本プロジェクトの成果は、以下の期待される成果の**一部またはすべて**に寄与することが期待される： ● 欧州の文脈において、学校などの閉鎖的な空間で市民を標的とするテロリズムや単独犯による暴力という現象について、政策立案者や関連する治安担当者の理解を深めること； ● 学校などの閉鎖的な空間における市民を対象としたテロリストや単独犯による攻撃は、ヨーロッパでは、例えば、孤立や過激化の初期兆候を早期に察知して対処することや、安全で包摂的な環境の整備などを通じて防止されている。 ● 欧州の学校や、礼拝所、行政機関、その他一般に開放されている建物などの閉鎖的な場所には、その安全を確保するための最先端の手段が整備されている； ● 欧州の警察当局と（学校や行政機関などの）関係職員との間の連携が強化される。 スコープ： 欧州の学校やその他の閉鎖的な空間（例えば、礼拝所、行政機関、その他一般に開放されている建物など）にいる市民は、さまざまな形態のテロや単独犯による暴力に直面する機会がますます増えている。本トピックは、プライバシー権や個人データの保護といった基本的権利を十分に尊重しつつ、こうした脅威を未然に防ぐための様々な社会的・技術的手段を検討することで、当該施設において（生徒、教職員、事務職員、および一般市民の）市民の安全を確保するための解決策を提供することを目的としている。 欧州の文脈において検討対象となっている現象を徹底的に分析した上で、提案においては、ジェンダーの役割や固定観念など、個人が過激化しやすい状況に影響を及ぼしうる社会的・文化的要因を考慮しつつ、テロの脅威、孤立、過激化の初期兆候を早期に察知し、対処するための手法について検討すべきである。提案においては、これらの要因が予防プログラムの有効性にどのような影響を及ぼす可能性があるか、また、例えば、テロや単独犯による攻撃の予防に向けたアプローチの近代化を含め、適切なプログラムを策定することなどを通じて、これらに対処する方法についても検討すべきである。対象となる建物に応じて、関係職員（学校職員、行政機関の職員など）に対し、既存のリスクに関する認識を高め（必要に応じて研修を実施し）、セキュリティに関する最新情報を提供するための取り組みは、多様なグループに対して包括的かつ効果的なものとなるよう検討・設計されるべきである。この文脈において、関係職員と警察当局との連携を強化する方法についても分析すべきである。提案される解決策は、通常、資金が限られている公立学校や、一般市民が利用可能なその他の施設にとって、財政的に負担の少ないものでなければならない。警察当局やその他の関連するセキュリティ専門家、市民社会組織、非政府組織（NGO）、ならびに IT 専門家、心理学者、社会学者などが適切なバランスで参加するコンソーシアムからの提案を募集しています。関連するセキュリティ実務者による積極的な関与とタイムリーなフィードバックを確保するため、提案書には、プロジェクトに関与する実務者によって実施される、プロジェクトの中間成果の評価からなる中間成果物を盛り込むべきである。このテーマの中で提案される活動は、社会科学的研究と技術開発・応用を論理的に組み合わせ、多角的な視点からこの課題に取り組むべきである。 したがって、このテーマにおいては、関連する研究活動の社会的影響力を高めるために、有意義かつ重要な成果を生み出すべく、人文社会科学（SSH）各分野からの効果的な貢献、人文社会科学の専門家や機関の参画、ならびに人文社会科学の関連する専門知識の活用が求められる。 提案書には、プロジェクト終了後の次の段階として、国内および EU レベルでの将来的な導入

	拡大とスケールアップを図るための計画を概説する必要がある。また、提案書では、HORIZON-CL3-2024-FCT-01-04 や HORIZON-CL2-2025-01-DEMOCRACY-05 などの EU 資金によるプロジェクトで得られた成果を参考にし、それらを基盤として構築するとともに、過去の研究と重複しないようにすべきである。提案が薬物関連の問題に関するものである場合、プロジェクトの実施期間中、成果の検証を含め、EU 薬物庁と連携することが求められる。このテーマで採択された提案間の連携を図り、重複を避け、相互補完性を活かし、さらなる波及効果を生み出す機会を最大限に活用すべきである。最後に、提案書には、「犯罪・テロ対策」の項目における「はじめに」で示された、該当するすべての考慮事項が盛り込まれることが求められる。 技術成熟度レベル - 完了したプロジェクトにおいて期待される技術成熟度レベル 本プロジェクトの終了までに、各活動において TRL 6～8 の達成が見込まれている（一般付属書 B を参照）。